

© 2025 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)

備前市美術館開館記念特別展

ピカソの陶芸

令和7年 7.12^土



9.28^日

マイロ・ピカソ (花冠の女性の顔) AR-237 1954-3-20 備前市美術館

いろとかたちの冒険

Picasso and His Ceramics

An Odyssey in Color and Form

【会場】 備前市美術館展示室 2、3

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌火曜日に休館） 【開館時間】 9:00 ~ 17:00

【主催】 備前市美術館開館記念特別展実行委員会（備前市、一般財団法人備前市文化芸術振興財団、山陽新聞社）

【共催】 備前市教育委員会 【特別協力】 ヨックモックミュージアム

【後援】 岡山県、NHK岡山放送局、読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、RSK山陽放送、KSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、OHK岡山放送



開館を彩る2つの記念特別展

ピカソの陶芸—いろいろかたちの冒険—

備前の現代陶芸…至極の逸品

関連プログラム

講演会

令和7年8月2日(土) 13:30～

講師: 松井裕美氏(東京大学総合文化研究科准教授)

会場: 備前市美術館 1階 講堂

参加料: 要当日観覧券

定員: 60名(※先着順、要事前申込)

ワークショップ・陶器タイルの絵付け体験 エディション・ピカソに 挑戦してみよう

令和7年8月9日(土) 10:00～15:00

(所要時間1時間30分・絵付け約30分、焼成約1時間)

対象: 小学生以上

会場: 備前市美術館 1階 講堂

参加料: 500円(※時間中随時受付)

その他、ギャラリートーク等の
開催を予定しています。

最新情報は公式サイトをご確認ください。

※諸事情により、予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。



A パブロ・ピカソ《四面相の女性頭部、アステカ風》A.R. 401
1957年 ヨックモックミュージアム

B パブロ・ピカソ《青い鳩》A.R. 218
1953年 ヨックモックミュージアム

C パブロ・ピカソ《イーゼルの前のジャクリヌ》A.R. 333
1956年 ヨックモックミュージアム

D パブロ・ピカソ《紐のある鼻》A.R. 121
1951年 ヨックモックミュージアム

撮影者: 相馬徳之(千代田スタジオ)、三嶋一路

このたびの開館記念特別展として、「ピカソの陶芸—いろいろかたちの冒険—」を開催いたします。世界有数のピカソのセラミックコレクションを所蔵しているヨックモックミュージアム(東京)の特別協力のもと、その豊富なコレクションの一部を展示します。伝統的な窯業地である備前での本展開催は初の試みであり、また開館を記念し新収蔵したピカソの陶器作品も併せて紹介いたします。

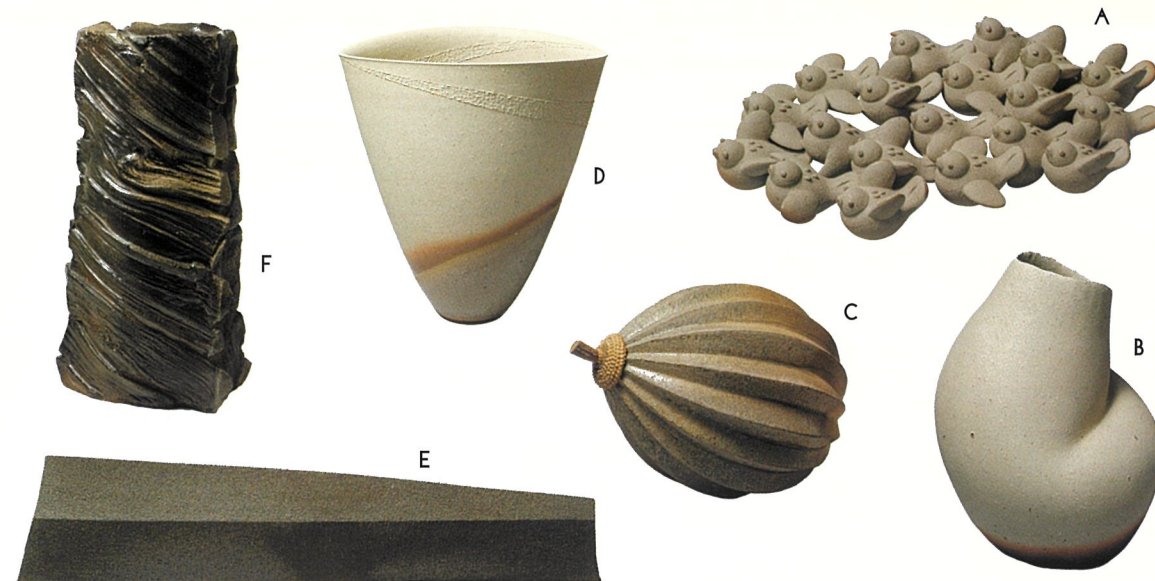
1946年、65歳を迎えたピカソは南仏ヴァリスを訪れた際に陶芸と出会い、その世界に魅了され、没するまでの約25年間、3,500点を越える作品を残しました。

ピカソの陶器作品は、ピカソのオリジナル作品(原型陶器)をもとに複数制作をするところに特色があります。本展では、その制作過程の独自性に着目しつつ、描かれる色とりどりのモチーフや、器の形を生かした造形のユニークさを楽しんでいただくとともに、自由で創造的な作風で芸術を追及し続けた、ピカソの創作に対するチャレンジ性に迫ります。



@bizen_moa

公式サイト <https://bizen-moa.jp>
〒705-0001 岡山県備前市伊部1659-6
TEL 0869-64-1400 / FAX 0869-64-1401



2025年、「備前市立備前焼ミュージアム」は「備前市美術館」として新たに生まれ変わります。当館では、備前市が世界に誇る備前の現代陶芸の魅力をより一層発信していきます。

開館記念特別展である本展は「備前の現代陶芸: 至極の逸品」と題し、無形文化財保持者や最先端で活躍している精鋭作家の作品を前期・後期あわせて約80点展示します。約800年前から連綿と続いてきた備前焼の伝統をベースとする備前の現代陶芸の「現在」を知って感じていただける場となれば幸いです。

開館記念特別展観覧料金

7/12(土)～9/28(日)	
大人	1,000(900)円
学生(大学生、専門学生、高校生)	500円
中学生以下	無料

10/11(土)～12/25(木)	
大人	500(400)円
学生(大学生、専門学生、高校生)	300円
中学生以下	無料

※()内は20名以上の団体料金 ※備前市内在住の65歳以上の方は無料。

※備前市内・外の中学生以下の方(ただし、保育園・認定こども園・小学校・中学校が授業の一環として引率する保育士または教職員を含む。)は無料。

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(ミライロID含む)とその介護者(1人)は無料。

※備前市在住以外で65歳以上の方(外国人を含む)は半額。(ただし、運転免許証等、住所、年齢が確認できるものを持参。)

関連プログラム

クロストーク

「備前の現代陶芸—過去・現在・未来—」

日時: 令和7年9月13日(土) 13:30～

登壇者: 唐澤 昌宏氏(国立工芸館 館長)

金子 賢治(備前市美術館 館長)

会場: 備前市美術館 1階 講堂

参加料: 要当日観覧券

定員: 60名(※先着順、要事前申込)

その他、ギャラリートーク等の開催を予定しています。
最新情報は公式サイトをご確認ください。

※諸事情により、予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

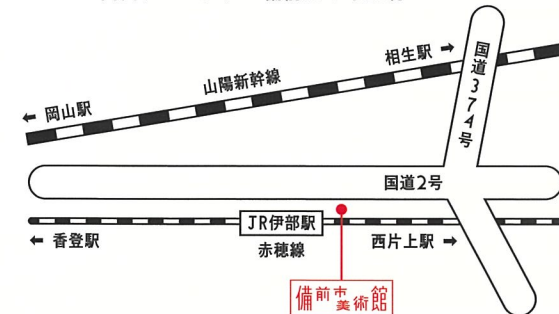


備前市美術館のアクセス

電車 … JR赤穂線「伊部駅」から徒歩1分

バス … JR岡山駅からバスで60分・宇野バス「片上」行乗車、「伊部駅前」停留所下車すぐ

車 …… 山陽自動車道・和気ICから15分、
岡山ブルーライン・備前ICから15分



A 島村光《群雀》2024年 D 宮尾昌宏《備前堆文花器》2023年
B 伊勢崎晃一郎《孕》2024年 E 矢部俊一《想景》2017年
C 渡田寿昭《Seed》2024年 F 伊勢崎淳《風雪》2011年

撮影: 小川雄大



BIZEN CITY
MUSEUM
OF ART

備前市美術館開館記念特別展

備前の現代陶芸：至極の逸品

Bizen Contemporary Ceramic Art:
Extraordinary Masterpieces

2025

前期：7.12 sat - 9.28 sun

後期：10.11 sat - 12.25 thu

会場：備前市美術館 展示室1

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌火曜日に休館）

開館時間：9:00 - 17:00

主催：備前市美術館開館記念特別展実行委員会（備前市、一般財団法人備前市文化芸術振興財団、山陽新聞社）

共催：備前市教育委員会

後援：岡山県、NHK岡山放送局、読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、RSK山陽放送、
KSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送、TSCテレビせとうち、OHK岡山放送